

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは3名。各メンバーは、デジタル推進、読書の町づくり推進の分野で活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください!



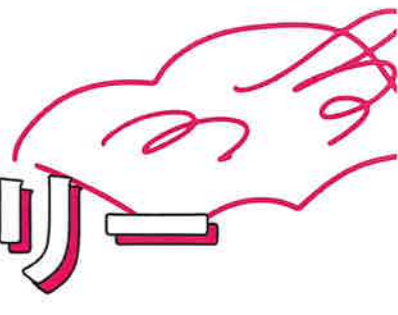
Volume.102

2026.5Update

Let's go!

矢祭町地域おこし協力隊

活動ダイアリー



地域おこし協力隊って?

「地域おこし協力隊」とは総務省が実施する制度です。隊員は都市部等から地方に移住し「地域活性化のための活動」を業務として日々取り組んでいます。

任期は最大3年間(特例で5年間)。学校や図書館と連携し活動をする、イベントを企画して人と人の交流を増やす、町の人が集まれる場所を運営する...等々、それぞれのやり方で活動しています。また、隊員は皆違う地域から移住してくる為生活でも慣れない事や新しい事に沢山出会いながら、ここ矢祭町で暮らしています。

出身も経歴も全く異なる私たちですが、「この町でどんなことが出来るだろう?」と全員が考え試行錯誤していますので、町で見かけた際はどうぞよろしくお願いします!



あっという間に5月になりました。4月は、戸津辺の桜の見事な開花や矢祭山駅周辺の夜桜見物で幻想的な風景を味わえたことに加え、矢祭町2年目にして初の松山登山に挑戦しました!頂上から町を眺めて下った先には矢祭山があり、これは登るしかないと思い、桜とツツジが入り混じった綺麗な色見を眺めながら、矢祭TVでの配信に向けて映像製作をしております。

また、矢祭中学校デジタル部の活動が福島銀行矢祭支店隣にある協力隊活動拠点で新たにスタートし、今年の「福島ふるさとCM大賞」は、賞を獲得したい!という子どもたちの野望がある中、町観光協会ともコラボしながらCM製作も始まっております。今年は、協力隊2年目ということで、起業・定住に向けて初の農作業にも挑戦しようと思います!

イノシシと穏やかに生活していける方法を農業の先輩方に相談しながら、どのように進めて行くべきか模索中です...



爽やかな新緑の季節、5月がよいよスタートしました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月のデジタル部活動は、心機一転、新しい拠点でのスタートでした。部員一同が集まり、今年度の目標について意見を交わしたほか、現在はフリースペースのオープンを周知するための告知チラシ制作に着手しています。自分たちの手で場を盛り上げていくワクワク感に包まれた活動となりました。

また、今月からデジタル推進地域おこし協力隊育成事業者との打ち合わせもスタートしました。専門的な知見に触れる中で、デジタル活用に関する新たな知識を次々と吸収することができ、非常に刺激的な時間となりました。

これらの学びを地域に還元できるよう、一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。季節の変わり目ですので、皆様もどうぞご自愛ください。今月もよろしくお願いいたします!

こんにちは、読書の街づくり担当の眞野です。いよいよ3年目の活動がスタートしましたが、協力隊としての時間も残りわずかですが、自分のできる精一杯で、悔いの無いよう活動していければと思います。4月は子ども司書講座が2回、そして押田製材所大展示即売会がありました。司書講座は何度やっても緊張しますが、受講した児童たちが楽しんでいる様子を見ると思わずほっとします。

また、イベントではボードゲームやレファレンスをテーマにしたブースを設けました。当日の様子はインスタで報告できればと思いますのでしばしお待ちを!

桜も散り、いよいよツツジの季節となりましたね。春の陽気に浮かれて引っ張り出した服がまだあるのと、暑さがたいへん苦手なので、どうか穏やかな気温のまま過ごしたいな~というところなんです。ただし、昼寝が増えないよう気を付けて過ごしたいと思っています。

大黒屋真由 Mayu Ooguroya

デジタル推進担当

東京都出身。前職は舞踏家。趣味はナンバ歩き。特技はストリートダンス。



若林奈那 Nana Wakabayashi

デジタル推進担当

東京都中野区出身。専門学校卒業後、地域おこし協力隊に着任。ゲーム、ドラえものの映画、食べるのが好きです。



眞野夏凜 Karin Mano

読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。



Check!

Instagram Facebook

